



発行所 立命館大学新聞社
 発行人 小林 秀太
 〒603-8577 京都市北区等持院北町
 56-1 立命館大学学生会館 BOX306
 075-465-8253 (内線 2610)
 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1
 立命館大学セントラルアーク 4F
 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150
 立命館大学 A 棟北ウィング (AN)
 3F Student Lounge 内
 email: info@ritsumeikanunivpress.com



立命館大学新聞社
 RITSUMEIKAN UNIV PRESS
 www.ritsumeikanunivpress.com
 立命館大学新聞社 検索
 TEL 075-465-8253
 MAIL info@ritsumeikanunivpress.com
 X (エックス) @Rits_Press
 Facebook www.facebook.com/ritspress/

心に寄りそい
 “想い”をカタチに

Catering Restaurant
 料理工房 ホワイトファミリー



3万8千人の熱気に包まれ 学園祭閉幕

「立命館大学学園祭2024」が、11月10日に本学大阪いばらきキャンパス(OIC)で開幕し、24日に衣笠キャンパス、12月1日にびわこ・くさつキャンパス(BKC)で開催された。3祭典を合わせた来場者数は約3万8千人を記録し、本年度学園祭のテーマ「Unexpcted!!!」を体現する学園祭となった。(井本)

本年度はOIC祭典から、11月に輝いた。学園祭が始まった。衣笠以外の祭典がトップバッターを務めたのは19年度以来、5年ぶり。

OIC祭典では、来年4月に開幕が迫った大阪・関西万博の発信も行われた。2025年日本国際博覧会協会(大阪府住之江区)がブースを設置。万博の公式キャラクター「ミヤクミヤク」やロゴが描かれたオリジナル缶バッジを作れるコーナーがあり、家族連れなどでにぎわった。

衣笠祭典では、プロタレント企画として俳優の本郷奏多さんが登場。トークショーを行った。本郷さんは京都で撮影した出演作の撮影秘話などを披露したほか、抽選で当たった観客3人にサイン入りプレゼントを手渡した。

一番の模擬店を来場者の投票で決める「モギー1ヶランプリ」が、OIC祭典と衣笠祭典で行われ、本学陸上競技同好会(RAC)に

「BKCウェルカムデー」が、11月10日に開催された。学生がクラフトビール販売

本学びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて11月10日「BKCウェルカムデー」が、くさつ健康フェスタ2024が開催された。キャンパス内には当日、多くの企画が展開。BKCの食堂で出た食品ロスをアップサイクルしてできたオリジナルクラフトビールの販売もあった。

アップサイクルとは、捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて利用すること。企画には経済学部や食マネジメント部の学生が参加しており、5月からBKCの食堂の余剰食品を回収していた。大学生などでにぎわい、イベント終了前



大きな盛り上がりを見せた衣笠祭典のエンディング企画「11月24日、衣笠キャンパス」

体験で作られた缶バッジ
 11月10日、OIC
 音楽に合わせて打ち上げられた花火「1日、BKC



クラフトビール販売ブースの様子 = BKC

グループとしては年内最後のライブ。1時間で代表曲「あとひとつ」や「ちっぽけな勇氣」を含む全10曲を歌唱し、彼らを一目見ようと集まった、5千人超の観客を熱狂させた。

3祭典を通して行われた、学園祭公式キャラクター「リッソ・プラザーズ」(リッソ)との写真会も、人気を集めた。リッソのイラストが印刷されたオリジナルステッカーが、参加者に配布された。

学園祭は本年度開設30周年を迎えたBKCで締めくくられた。

◆立命館大学新聞社人事
 11月1日
 主幹(副主幹) 小林秀太
 副主幹(記者) 井本晋平、吉江あかね、財務局長(同) 長尾美雨
 退任(主幹) 三好ミチル、(副主幹) 稲垣虹哉、(財務局長) 小室琢磨

冬になると思い出す味がある。それは祖母と寒い夜一緒に飲んだミルクセーキの味だ。祖母が「寒いから温かいの買っておいで」と言い、小銭を渡してくれた情景をふと思い出す。当時の自分は自販機のラインナップに無難なコーンポタージュなどがある中、あまり聞き馴染みのないミルクセーキを選んだ。今考えると珍しいミルクセーキを選んだからこぞずっと印象に残っており、今でも覚えているのかもしれない。またこれと似た現象で、特定の匂いを嗅ぐことでその時の記憶や感情を思い出すこともある。例えば金木犀の匂いから中学生の時の下校を思い出し、汗ふきシートの匂いから部活動を思い出したり、人それぞれ匂いから思い出すことがあるだろう。このような現象を「ブルースト効果」と呼ぶらしい。そして味覚でも嗅覚でも何かを引き金として大切な記憶を思い出すことはとても素敵なことだと思ふ。あの頃の自分はどういうなことを感じたか、過ごしていたのか客観的に振り返ることができると同時に懐かしい感情になり、何とも言えない幸福感に包まれるからである。冬になると思い出す味がある。祖母はもうこの世にはいないが、冬の寒さを感じると、一緒に過ごした思い出と共に、そばに居てくれるような温かみを感じ、そんな冬が大好きだ。だからこの先も冬を迎えるたび、あの懐かしいミルクセーキの味を思い出すのだろう。(今井)

内定獲得の決め手は“さわやかな笑顔”!

歯の変色や歯茎の黒ずみが気になる方

審美歯科

希望に応じて様々な治療法をご提案

すきっ歯など歯並びをきれいにしたい方

歯列矯正

カウンセリング無料!即日見直し

前歯を治療するだけでも、印象はグッと変わります!

海外では歯並びが悪いことが、マイナスイメージに

国際的に活躍したい人には、矯正治療がおすすめ。欧米では歯並びを整えることは、大切なマナーでもあり、面接時のチェックポイントにする企業も増えているとか…。グローバル化が進む中、きれいな歯並びは一生の財産になります。歯の裏側に付ける目立たない矯正装置もありますので、お気軽にご相談ください。

白梅町 アリス歯科医院

まずは気軽にご相談ください

075-462-8211

無料カウンセリング 受付中

http://www.alicedental.jp/

白梅町 アリス歯科医院

アリスデンタルクリニック グループ
 京都(四条大宮・白梅町) 東京(名古屋)

まずは気軽にご相談ください

075-462-8211

無料カウンセリング 受付中

http://www.alicedental.jp/

選挙権年齢が18歳以上... 補者や政党がない、自に引き下げられてからま... 分の一票では変わらない

社説

若者の投票率低下 主権者たる自覚を

総務省の発表によると、三大原則の一つであり、10月27日投票が行われ... 国民それぞれが選挙を通

正しく反映できず、日本における政治の根幹である民主主義の崩壊につな

「冤罪のない世界へ」

学生が「IPJ」ボランティア

10月8日「袴田事件」と呼ばれる1966年に起こった静岡県一家4人殺害事件で、死刑が確定していた中、58年間犯人とされていた袴田巖さんの無罪が確定した。

森久教授は語る。アメリカで1990年代に始まり、全世界に広がる「冤罪」に対する意識が世間で変容しつつある。冤罪防止を目的に活動する「イノセンス・プロジェクト」(IPJ)に参加する本学法学部・森久智江教授(犯罪学・刑事訴訟法)と学生ボランティアに話を聞いた。



久教授

IPJとは、罪を犯していないにもかかわらず、犯罪者として扱われてしまうことだ。IPJは、冤罪の被害者の支援・救済、冤罪事件の再検証を通じて公正・公平な司法の実現を目指している。

この活動を日本に取り入れようと、甲南大学法学部・笹倉香奈教授(刑事訴訟法)が、法律と心理学の連携などを積極的に進めていた本学と協力した。供述を情報工学によって分析するなど、司法での科学技術の面で協力していた政策科学部・稲葉光行教授(情報学)を代表として、司法実務家、研究者などの有志により2016年4月1日に設立された。



8月に開催されたシンポジウムの様子(同ボランティア提供)

吹奏楽部が全国金賞 2年連続 栄光つかむ

本学応援団吹奏楽部が10月26日、札幌コンサートホール Kitara (札幌市)で開催された全日本吹奏楽コンクール(全国大会)の大学の部に出場した。写真客観視できる貴重な機会でもあった。その機会を自ら放棄してしまうのは非常にもったいない。



成績につながった。川本さんは「昨年の大会では、初めて全国大会に出場する部員も多かったため、全国大会はどのような景色が広がっているのかという未知の部分が大きかった。今年

来夏には参院選が控えている。今回行かなかった人や行けなかった人は、ぜひ投票所に足を運んでほしい。

創部73年の伝統を誇る同部。昨年は、同部史上初となる念願の全国大会金賞を勝ち取った。今年も全国大会について、「昨年の結果が偶然のものではなく、本当

自分自身はプレッシャーを感じたこともあったという。その中でも大会の結果にとらわれないで、立命館らしい演奏を心掛けて練習をしていったと川本さん。「音程やリズムが合っていると

女子陸上競技部 悲願の全国2冠 学生歴代3位 日本陸上競技選手権大会 リレー競技の女子4x400mリレー決勝が10月6日、国立競技場(東京都新宿区)にて行われ、本学女子陸上競技部が優勝した。9月に開催された日本学生陸上競技連盟大会(同部提供) 児島選手のゴール後、抱き合う4人

技対校選手権大会での優勝と合わせて、2冠達成という快挙を成し遂げた。決勝に出場したメンバーは山本亜美選手(スポ健4)、工藤芽衣選手(食マネ4)、瀧野未来選手(スポ健1)、児島柚月選手(スポ健2)。記録は学生歴代3位となる3分36秒64で、関西学生記録を更新した。 児島選手は「今年は私個人を含め、チーム全体としていい流れが来ていると感じるので、今後もこの流れを途切れさせないようにしたい。さらにもう一歩成長できるように自分がエースとして引張っていきたい」と話した。(吉江)

是枝監督・森監督がティーチイン

本学産業社会学部の客員教授である是枝裕和監督と森達也監督によるティーチインイベントが11月7日、衣笠キャンパスで行われた。同企画は森監督が担当する「メディア社会専門特講」の一環。同学部の創設60周年記念も兼ねて一般開放された。(井本)



是枝監督と森監督によるトークセッションの様子。衣笠キャンパス

「ドキュメンタリーは中立公正ではなく表現」

企画では2005年放送の、是枝監督が制作したテレビドキュメンタリー「シリーズ憲法」第9条・戦争放棄「忘却」が上映された。同作品は「憲法9条 戦争の放棄」をテーマに、自身の個人史の中で憲法9条がどのように意識され、また忘却されてきたのか、「加害性」などを中心に淡々と再検討する内容。 上映後、森監督と是枝監督によるトークセッションや、参加者が監督たちに質問できるティーチインが行われた。話題はシリーズ憲法の制作秘話からテレビやドキュメンタリーの在り方など幅広く、参加者は熱心に耳を傾けた。 ドキュメンタリーを、主観が排除された客観的なものと捉える人は少なくない。森監督は「ドキュメンタリーに中立公正性は必要

ない。ドキュメンタリーはあくまで表現」とし、ドキュメンタリーの本来の姿と世間的イメージの乖離を指摘した。 「流れて消える」テレビは、録画により再検証が可能になった。是枝監督は、テレビの既存のアイデンティティが失われつつあると、「放送」というのは何をアイデンティティと捉え直すのか」と再考の必要性を話した。 参加者からは多くの質問が飛び交った。大衆評価と作品自体の評価が必ずしも一致しない中で、どんな作品を作るべきなのか問われると、森監督は、自分が納得できるかどうかだと回答。 是枝監督は「日本は「お客さん入らなかつたけど良い作品だったね」というのが成立する数少ない国」とし、「多様な評価がされている」という点は日本の良いところ」と述べた。企画には、受講生を含む学生ら約320人が参加した。



是枝裕和(これえだ・ひるかず) 1962年、東京都生まれ。大学卒業後は「テレビマンユニオン」で番組制作。現在は映画に軸足を置く。代表作に「万引き家族」などがあり、国内外から高い評価を受けている。



森達也(もり・たつや) 1956年、広島県生まれ。テレビ制作会社勤務後、フリーで主にドキュメンタリーを制作。代表作に「A」や「A2」、「11」新記者ドキュメント」がある。2023年には初の劇映画「福田村事件」を発表した。

「寄付行為」変更案 議決

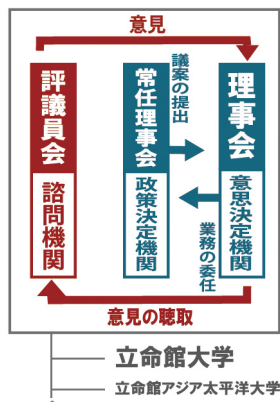
来年4月施行か ガバナンス強化策盛り込む

学校法人立命館の理事会で9月27日、寄付行為①②変更案が議決されたことが、本紙の取材で分かった。改正私立学校法(私学法)への対応を目的に、ガバナンス(組織統治)の強化策を盛り込む。私学法改正に伴う変更は、2020年4月以来、関係者によると、来年3月までに文部科学省の認可を得て、4月に施行される見込み。

(寄付行為取材班)

ガバナンス強化策盛り込む

<学園組織の構造>



■私学法改正

寄付行為変更の契機となった改正私学法は2023年4月、参議院本会議で全会一致で可決、成立した。法改正の発端は、私立大で相次いだ不祥事だ。東京医科大では、医学部入試で不正に加点し合格させる事件があり、元理事長と元学長が贈賄罪に問われた。また日本大では、元理事長らによる背任・脱税事件が発生していた。

今回の改正では、「執行と監視・監督の役割の明確化・分離」の考え方から、理事会や評議員会②の権力分配を整理。理事長や理事会对するけん制・チェック機能を高め、ガバナンスを強化する。

改正では、理事選任機関の設置▽理事と評議員の兼職禁止▽評議員の下限定数を「理事の定数の2倍を超える数」から「理事の定数を超える数」まで引き下げること▽教職員評議員を評議員総数の3分の1を超えないよう制限すること——などの変更があった。

立命館の評議員定数は現在103人。理事全員が評議員を兼職しており、理事を除く評議員総数の約半数は教職員評議員だった。

また教学における役職者などを、理事選任機関の選任行為なしに自動的に理事にすることは不可能に。学部長に選任された者が自動的に理事になる規定も、見直しが求められた。

改正私学法の施行は25年4月。各学校法人は、法改正に対応した寄付行為変更案を策定し、25年3月末までに文科省の認可を受ける必要があった。

私学法改正を踏まえ理事会は23年10月27日、理事会の下に「改正私立学校法を踏まえた寄付行為変更案検討委員会(検討委)」を設置。学校法人を取り巻く情勢やガバナンス改革を巡る

動向を踏まえ、変更案策定に向け検討を進めてきた。検討委は、寄付行為変更認可申請の期日の関係から、改正私学法により必ず対応しなければならない事項を優先し、その他の事項は現在の寄付行為を基に検討を進めたとしている。

検討委は3月、変更案に関する基本方針に関して「中間報告」を取りまとめ、その後常任理事会や理事会、評議員会に報告。また、常任理事会を通して、学内諸機関からの意見集約を、4月にかけて実施した。

検討委は、「中間報告」に対して出された意見などについて検討。5月末に最終的な答申に向けた「答申案」を取りまとめ、常任理事会や理事会・評議員会に報告を行ったほか、6月から7月にかけて2度目となる学内諸機関からの意見集約を行った。

意見集約においては、答申案で示された基本的方針の方向で良いとする意見が一定数あった一方、理事選任機関の置き方や、評議員の定数の在り方などが論点となっていたという。

理事については、本学の学部長に選任された者を理事選任機関に推薦し、評議員の意見を聞いた上で理事選任機関において選任する、というプロセスとし、学部長から理事を選任するとういう枠組みを維持した。

理事の定数は、44人から数人程度の増加、評議員定数は、103人から大幅に減少する変更案で認可申請中だという。評議員会の定数の減少は、理事と評議員の兼職が禁止になったことに加え、一人一人の発言機会を増やし、議論の実質化を図ることが狙いとみられる。

立命館は今後、内部統制の仕組みを構築・運営し、新寄付行為に基づく学園運営をモニタリングしつつ、学園のガバナンスのありようについて検討を行っていくとしている。

常任理事会は答申を了承。9月27日に理事会に報告し、同日理事会は寄付行為変更案を議決した。

変更案では、理事選任機関「ガバナンス不全を防止するため、理事長職について、理事選任機関を強化する」という観点でチェック機能を

最終的な答申で検討委は、「適切な学校法人ガバナンスが機能するようさまざまな観点でチェック機能を

強化することが重要「理事長職にある者が広範な人脈やネットワークを構築するために、一定の年数がかかることなどを考慮」とした。

理事長の再任回数制限など法定化されていない事項について多様な意見が出される中で、「認可申請の期日との関係からも、今次検討の中で結論を出すのは困難との判断に至った」とし、「将来的にさらに検討を深める課題として位置付ける」としている。

有志の会は、本紙の取材に対し「(再任制限がなければ)適切な交代が阻害され、権限の集中による不祥事や不正を生む可能性が生まれる」と指摘。「有志の会の活動や一連の議論が」学園における寄付行為の重要性、とりわけ理事長の再任制限について、より多くの教職員が問題意識を持つ機会になったと考えている」と回答した。

点には、若者の大きな貢献があった」と振り返る。若者が変化の原動力になるためには、科学を平和のために使う方法を考えること▽正しいことを考えて勇気を持って行動すること▽自らの関心を越えて他人とつながり協力すること——などが必要だと助言している。

①寄付行為

私立学校法に基づき、学校法人の目的や設置校、理事会・評議員会などについて定めた、学校法人の根本となる基本的規則。会社の定款に相当する。

②評議員会

全ての評議員によって構成される、学校法人の諮問機関。学校法人の業務などについて、役員に対して意見を述べ、役員からの諮問に答える。

■変更案議論

私学法改正を踏まえ理事会は23年10月27日、理事会の下に「改正私立学校法を踏まえた寄付行為変更案検討委員会(検討委)」を設置。学校法人を取り巻く情勢やガバナンス改革を巡る

動向を踏まえ、変更案策定に向け検討を進めてきた。検討委は、寄付行為変更認可申請の期日の関係から、改正私学法により必ず対応しなければならない事項を優先し、その他の事項は現在の寄付行為を基に検討を進めたとしている。

検討委は3月、変更案に関する基本方針に関して「中間報告」を取りまとめ、その後常任理事会や理事会、評議員会に報告。また、常任理事会を通して、学内諸機関からの意見集約を、4月にかけて実施した。

検討委は、「中間報告」に対して出された意見などについて検討。5月末に最終的な答申に向けた「答申案」を取りまとめ、常任理事会や理事会・評議員会に報告を行ったほか、6月から7月にかけて2度目となる学内諸機関からの意見集約を行った。

意見集約においては、答申案で示された基本的方針の方向で良いとする意見が一定数あった一方、理事選任機関の置き方や、評議員の定数の在り方などが論点となっていたという。

理事については、本学の学部長に選任された者を理事選任機関に推薦し、評議員の意見を聞いた上で理事選任機関において選任する、というプロセスとし、学部長から理事を選任するとういう枠組みを維持した。



若者の役割について語る中満氏
=衣笠キャンパス

国連・中満泉事務次長が講演 「紛争より平和を、分断より協力を」

本学衣笠キャンパスの以上級代表)を招いた講演会が開かれた。中満氏は「平和で公正な未来へ 私たち中満泉事務次長(軍縮担当にできること)」をテーマに、

若者が果たしていく役割について語り、参加者約400人が耳を傾けていた。

講演で中満氏は、ロシアによるウクライナ侵略や、イスラエルとイスラム主義組織ハマスとの戦闘などが続いている現状について「歴史上の岐路に立っている」と指摘。「人類が一丸となって、紛争よりも平和を、分断よりも協力を、恐怖よりも希望を選択していかなければならない」と訴える。

若者が果たしていく役割について語り、参加者約400人が耳を傾けていた。

講演で中満氏は、ロシアによるウクライナ侵略や、イスラエルとイスラム主義組織ハマスとの戦闘などが続いている現状について「歴史上の岐路に立っている」と指摘。「人類が一丸となって、紛争よりも平和を、分断よりも協力を、恐怖よりも希望を選択していかなければならない」と訴える。

中満氏は「歴史の転換点には、若者の大きな貢献があった」と振り返る。若者が変化の原動力になるためには、科学を平和のために使う方法を考えること▽正しいことを考えて勇気を持って行動すること▽自らの関心を越えて他人とつながり協力すること——などが必要だと助言している。

「身の回りにはさまざまな不正義の解決に取り組むことが、平和貢献の重要な部分を占めている」とした上で、「皆さんは平和な世界をつくっていく力と可能性を持っている。一人一人が協力しながら、平和で公正な未来をつくってほしい」と呼び掛け、講演を締めくくった。

中満氏は「歴史の転換点には、若者の大きな貢献があった」と振り返る。若者が変化の原動力になるためには、科学を平和のために使う方法を考えること▽正しいことを考えて勇気を持って行動すること▽自らの関心を越えて他人とつながり協力すること——などが必要だと助言している。

「身の回りにはさまざまな不正義の解決に取り組むことが、平和貢献の重要な部分を占めている」とした上で、「皆さんは平和な世界をつくっていく力と可能性を持っている。一人一人が協力しながら、平和で公正な未来をつくってほしい」と呼び掛け、講演を締めくくった。

立命館映像展 2024

2025年2月22日(土)・23日(日)・24日(月・祝)

立命館大学大隈いばらきキャンパスII棟

#映像作品上映 #インタラクティブ展示
#入場料無料 #映像学部・映像研究科の研究成果発表



赤本が創刊70周年 「やさしい」デザインにリニューアル

世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「赤本」が今年で創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「赤本の歴史」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「創刊号について」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「今後の赤本について」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「デザインの経緯」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「デザイン変更の経緯」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「デザイン変更の経緯」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「デザイン変更の経緯」
世界思想社が創刊70周年を迎え、表紙のデザイン変更が行われた。また、正式名称を「大学入試シリーズ」から「大学赤本シリーズ」へと変更。赤本を出版する世界思想社(京都市左京区)代表取締役社長の上原寿明さんと、編集部マネージャーの中本多恵さんに、赤本の歴史やデザイン変更について話を聞いた。(八木)

「闇バイト」注意呼び掛け 「安易に手を出さないで」

被害者の家などにいき、現金やキャッシュカードを受け取るのが役目となる。「若者は受け手を担うことが一番多い。なぜなら被害者と接触するため、一番捕まりやすいから」と寺村警部は話す。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

「酒気帯び運転」は、既に何件か検挙しており、大学生の違反者も見られた。その語るのは京都府警本部交通企画課の山科真琴警部補。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

「ながら運転」は、既に何件か検挙しており、大学生の違反者も見られた。その語るのは京都府警本部交通企画課の山科真琴警部補。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

自転車交通違反 厳罰化

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

改正道路交通法が11月1日に施行され、自転車での酒気帯び運転と、スマートフォンなどを使用しながらの「ながら運転」が厳罰化された。京都府警も、周知や取り締まり強化に努めている。

